

Mother

水沢高校 1年 佐藤明彩

宇宙とは母である
産まれやがて死にゆく全てのものを包み込む
おそろしく 慈悲に満ちた心である

自分に近づきたいと焦がれる我が子を彼女は
どんな目で見ていたのだろう
あの日に至るまでのアポロを
空に思いを馳せる私たちを

もし、彼女が
ある日突然どこかに生まれて
たったひとり
幼心のままに銀河を作ったのだとしたら

もし、彼女が
絶えず産まれては死を繰り返す私たちを忘れ
ないため
受け止めるために
広がり続けているのだとしたら

私たちは母の顔を知らずに生きていることになる

届くことのない光のほほ笑みを
暗がりにも隠れた同胞を
知らずに生きていることになる

ならば、
この世に宇宙がある限り
私の好奇心が尽きることはない

遍く深い貴女を知りたい
強く気高い貴女に触りたい

見えない臍の緒をつたって
私は貴女に逢いに行く